

平成 24 年度
学生自治会の予算運用について

はじめに、この報告書には自治会の現状と来年度の予算を決定するにあたり必要な事案について述べられています。

学生自治会会計担当者として、予算の運用方針は各団体の活動を実り多きものにし、来年度の自治会運営を円滑にするために尽力したいと思っております。

また昨年度は、各委員会、学術文化部会、体育会に多大な予算協力をして頂き大きな成果を上げられました。これはひとえに各団体様の協力のためであり心から感謝申し上げます。

しかし今の自治会運営は健全ではなく、予算が不足し赤字運営の状況が続いています。加えて今年度の予算状況も必ずしも良好とは言い難く、予算編成においても各団体の要求をすべて受け入れられる状況にはなっていません。

今年度の予算運営目標として「自治会運営予備費の最低限度の確保、維持」とさせていただきます。また今年度の課題として、過去の自治会の赤字運営ではなく自治会費内での運営を目指し、「1、自治会運営の健全化」「2、予備費の確保」を挙げます。

以上のことを考慮しますと、いずれも自治会運営において重要な課題であるため、会計担当者として今年度も協力をお願いしたいと思っております。各団体様には心苦しくはありますがよろしくお願い申し上げます。

目次

- 1、予算運用方針
- 2、自治会の現状
- 3、来年度予算の予想
- 4、自治会運営に必要な予算と予備費
- 5、運営団体会議について

1、予算運用方針

自治会会計担当者として、今後の学生自治会運営を見据え、今年度の目標は「自治会運営費の最低限度の確保、維持」を目標とします。その際、規約に基づく予算の運用を行いたいと考えています。

予算割り当ての判断基準と致しまして、主に

- (i) 必要経費
- (ii) 活動(活動理念、活動状況、活動目標の達成、ボランティアなど)
- (iii) 評価(学生・教官・周辺地域の方からの評判、大会成績)

としたいと思います。

ただし、自治会費用(今年度は1617万円前後)での予算運用であることに留意して頂きたいようお願い致します。たとえば、機器が故障し修理代が必要であるため必要経費であるとされても、自治会全体の運営も考え要望が実現できないことがあります。

予算を配分するのは団体と自治会運営費用があります。団体には10団体あり、執行委員会、鳩山祭実行委員会、放送委員会、学生環境推進委員会、学術文化部会本部及び所属団体、体育会本部および所属団体、会計監査委員会、予算審議委員会、選挙管理委員会、議長団となっています。なお、平成24年2月現在部会所属団体は、体育会13団体、学術文化部会18団体あります。

自治会運営費用には4つあり、印刷機器リース代、鳩山祭参加団体援助金、鳩山祭芸能人企画強化予算、予備費があります。予備費に関しては項目「4、自治会運営に必要な予算と予備費」で詳述しています。

2、自治会の現状

この項目では、現在ないし過去からわかっている状況を記します。また自治会とは、東京電機大学に所属する学生から構成される学生自治会を指します。

2.1 自治会の運営状況

- (i) 自治会費—総支出

21年度(+394,262)、22年度(-1,881,684)

- (ii) 総収入—総支出

21年度(+1,215,435)、22年度(+754,799)

2.2 概要

平成22年度は予備費まで使って予算を組んでいました(項目(i)において前年度から220万円減)。また「予算請求書」における「各団体返還金(1,251,372-)」は余った予算の決算処理をしてない各団体の備蓄金であり、当年度(平成22年度)で回収済みであるため今後の返還はありません。今年度の自治会運営は多くをこの「各団体返還金」に依って黒字で行うことができ、自治会に所属する団体が活動休止状態にならずに済みました。

また、自治会の運営は自治会費のみで予算運用を考えるため、前年度繰越金あるいは予備費は考えない予算運用を行います。しかし実情は各年度目一杯あるいは赤字運営となっているため、現在の状況は良好とは言えません。

2. 3 今年度の予備費の見込み額

今年度の予備費の見込み額は 260 万円前後となっています。ただし、正確な金額は決算処理の終了をお待ち下さい。

3、来年度予算の予想

来年度の予算の予想は 16,170,000- です。以下にその理由を記します。

来年度の予算は来年度の 1～4 年生から徴収される会費によって算出されます。内訳は、入会費 1000-(新入生のみ) 年会費 5500-(全学年)となっています。

しかし、震災などの影響により休学者が増える、入学者が減ることが予想されます。そこで平成 22 年度から平成 23 年度の学生数の推移を参考に比較し、比較年度と同程度学生が減ると予想し、学生が各学年 10 人ほど、合計 40 人ほど減ると仮定しました。以上より、前年度より 23 万円低く予想しました。また若年層の人口の減少も合わせて考慮し、今後も同様の状況が続くと予想されます。

内訳

- ・ 新入生(新 1 年生) $(1000+5500)\text{円} \times 10 \text{人} = 65,000-$
 - ・ 在校生(2～4 年生) $5500 \times (10 \times 3)\text{人} = 165,000-$
- 合計 $65,000+165,000=230,000-$

また、平成 20 年度からの自治会費を見ても平成 20 年度 1667 万円、平成 21 年度 1678 万円、平成 22 年度 1652 万円、平成 23 年度 1637 万円となっています。自治会費は減少傾向にあり、今後も上述の理由により自治会費の上昇は見込みにくい状況となっています。

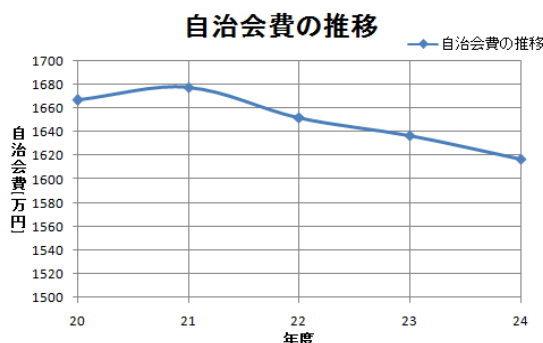
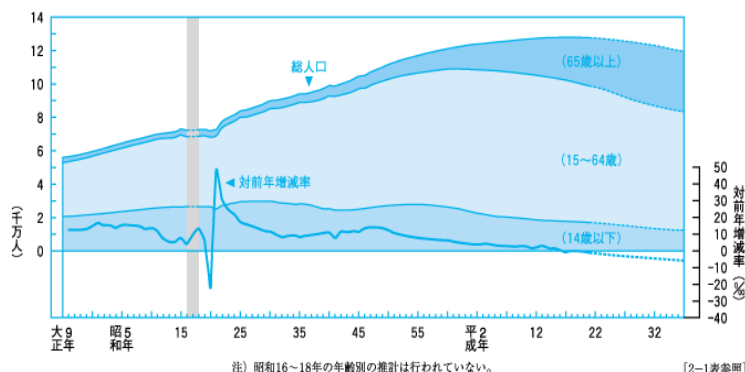


図 1、自治会費の推移(平成 24 年度は予想)

3 総人口の推移



[2-1表参照]

図 2、人口の推移

4、自治会運営に必要な予算と予備費

この項目では、来年度(平成 24 年度)に必要な予算と予備費について記します。予備費とは、体育祭や不測の事態に対応するために必要な費用の確保を目的としたものです。

4. 1 予備費 (401 万円)

内訳

- 1、体育祭の立て替え (70 万円)
- 2、窃盗の対策 (50 万円)
(例、平成 19 年体育会 35 万円 鳩山祭実行委員会 11.5 万)
- 3、印刷機器の故障に備えるため (58 万円)
- 4、予見し難い予算の不足と自治会の安定した運営のための資金確保 (200 万円)
- 5、震災による学生の減少にともなう想定以上の自治会費減少に備えるため (23 万円)

体育祭の立て替えについては、毎年予備費として必要となっています。これは、予算の第 1 回の振り込みが 6 月であり、体育祭開催の 5 月の後となっており、確保していないと予備費からの費用捻出となり、実質赤字運営となってしまいます。

また、過去の事由の発生の回数と頻度を鑑みて、内訳項目「2、窃盗の対策(50 万円)」「3、印刷機器の故障に備えるため(58 万円)」「5、震災による学生の減少にともなう想定以上の自治会費減少に備えるため (23 万円)」を項目「4、予見し難い予算の不足と自治会の安定した運営のための資金確保(200 万円)」で賄えると考え、予備費を(280 万円)とすることも自治会運営上可能ではあります。

項目「3、印刷機器の故障に備えるため(58 万円)」について、印刷機器は自治会での運営となっています。仮に印刷機器が故障し修理不能となった場合、新しい印刷機器を導入する可能性があります。そのとき、リース契約に係る代金として、一ヶ月 4 万円×12 ヶ月=48 万円、さらに新しい印刷機器に対応するインクやマスターや用紙の 10 万円の支出を見込んだ計算になっています。

また、予備費が大幅に必要な金額を上回った場合、3～5 年に分けて上回った金額を予算配分したいと思っております。単年ではなく、複数年度に渡り予算配分するのは、団体に計画的に資金を運用して頂きたいためです。

5、運営団体会議について

運営団体会議とは翌年度の予算を決定するために開く会議であり、運営団体により協議を行います。なおこの会議は、各団体の予算の使い道を議論した上で全体の予算を決定することが目的です。最終決定した予算の配賦内訳の詳細については、各運営団体の会計・財務担当者または代表者の方に聞いて頂くようお願い致します。

以下に過去 3 年間の予算請求額と今年度の運営団体会議の結果を記します。

表 1、過去 3 年間の予算請求額

	平成 21 年度 予算請求	H22 年度 予算請求	H23 年度 予算請求
執行委員会	446,429	1,098,210	807,097
鳩山祭実行委員会	4,158,000	4,345,000	3,554,571
放送委員会	950,000	1,065,656	828,626
学生環境推進委員会	201,774	40,583	80,000
体育会	2,523,000	3,834,200	2,233,000
体育会本部	1,086,625	364,200	700,000
学術文化部会	2,250,000	2,610,000	1,794,130
学術文化部会本部	40,000	70,322	49,730
会計監査委員会	21,000	24,424	0
選挙管理委員会	3,067	741	0
予算審議委員会	9,310	40,650	0
議長団	1,840	2,000	0
合計	11,691,045	13,495,986	10,047,154
自治会費			
印刷機器リース代	617,400	1,372,380	1,400,000
鳩山祭参加団体援助金	2,700,000	2,700,000	2,360,000
鳩山祭芸能人企画 強化予算	1,300,000	1,300,000	1,000,000
合計	4,617,400	5,372,380	4,760,000
予備費	1,362,848	532,796	1,832,995
	-繰越金 642,263		-繰越金 754,799
総計	17,671,293	19,401,162	14,807,154
総計-自治会費	-220,970	129,962	-1,584,346
		-返還金 1,232,765	

「総計-自治会費」において金額に「-」が付いていれば予算案の総計が自治会費内に収まっていることを示します。

「予備費」「総計-自治会費」において「-繰越金」「-返還金」とされているのは、予算請求書においてそれぞれの金額が誤解を招く可能性があるために補足説明として追加致しました。

表 2、運営団体会議における予算の推移

	第 2 回 予算案	第 3 回 予算案	第 4 回 予算案	第 5 回 予算案	最終決定額
執行委員会	701,730	701,730	725,899	691,099	691,099
鳩山祭実行委員会	3,584,571	3,584,571	3,539,571	3,440,571	3,440,571
放送委員会	1,934,800	1,534,900	1,328,300	1,024,681	989,195
学生環境推進 委員会	200,000	162,036	80,000	70,000	70,000
体育会	2,722,000	2,722,000	2,502,000	2,502,000	2,462,000
体育会本部	928,000	928,000	750,000	602,000	602,000
学術文化部会	3,052,000	3,052,000	2,700,000	2,245,000	2,250,000
学術文化部会本部	49,730	49,730	36,730	36,730	36,730
会計監査委員会	20,000	20,000	10,000	10,000	10,000
選挙管理委員会	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
予算審議委員会	35,280	35,280	10,000	10,000	10,000
議長団	0	0	0	0	0
合計	13,229,111	12,791,247	11,683,500	10,633,081	10,562,595
自治会費					
印刷機器リース代	1,800,000	1,800,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000
鳩山祭参加団体 援助金	2,400,000	2,400,000	2,375,000	2,300,000	2,300,000
鳩山祭芸能人企画 強化予算	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
合計	5,200,000	5,200,000	4,775,000	4,700,000	4,700,000
予備費	1,000,000	1,000,000	1,000,000	950,000	900,000
総計	19,429,111	18,991,247	17,458,500	16,283,081	16,162,595
総計－自治会費	3,259,111	2,821,247	1,288,500	113,081	-7,405

「総計－自治会費」において金額に「－」があれば予算案の総計が自治会費内に収まっていることを示します。

「印刷機器リース代」において請求額が 40 万円減少しているのは、再リース契約の契約方法と会計処理を誤解していたために訂正をしたものです。

以上を以て来年度の学生自治会の予算運用と致します。

*引用

図 2 : 「総務省統計局 統計表 第 2 章人口・世帯 2-1 人口の推移と将来人口」

参考 URL : <http://www.stat.go.jp/data/nihon/02.htm>

学生自治会会計 上村拓也
予算審議委員会委員長 秋野裕樹
会計監査委員会委員長 梶原翔

作成 平成 24 年 1 月 10 日
改訂 平成 24 年 2 月 27 日